

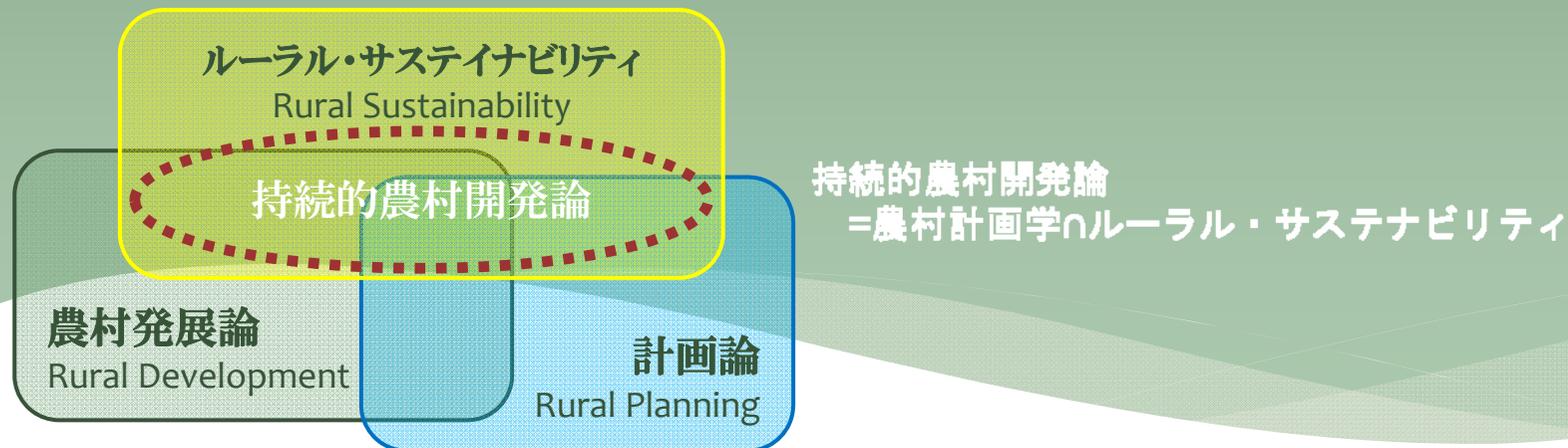
持続的農村開発論分野

Sustainable Rural Development

農山村地域に寄り添い、持続的発展を支援する！

(農学研究科 農村計画学分野 両任)

<http://www.rural.kais.kyoto-u.ac.jp/>



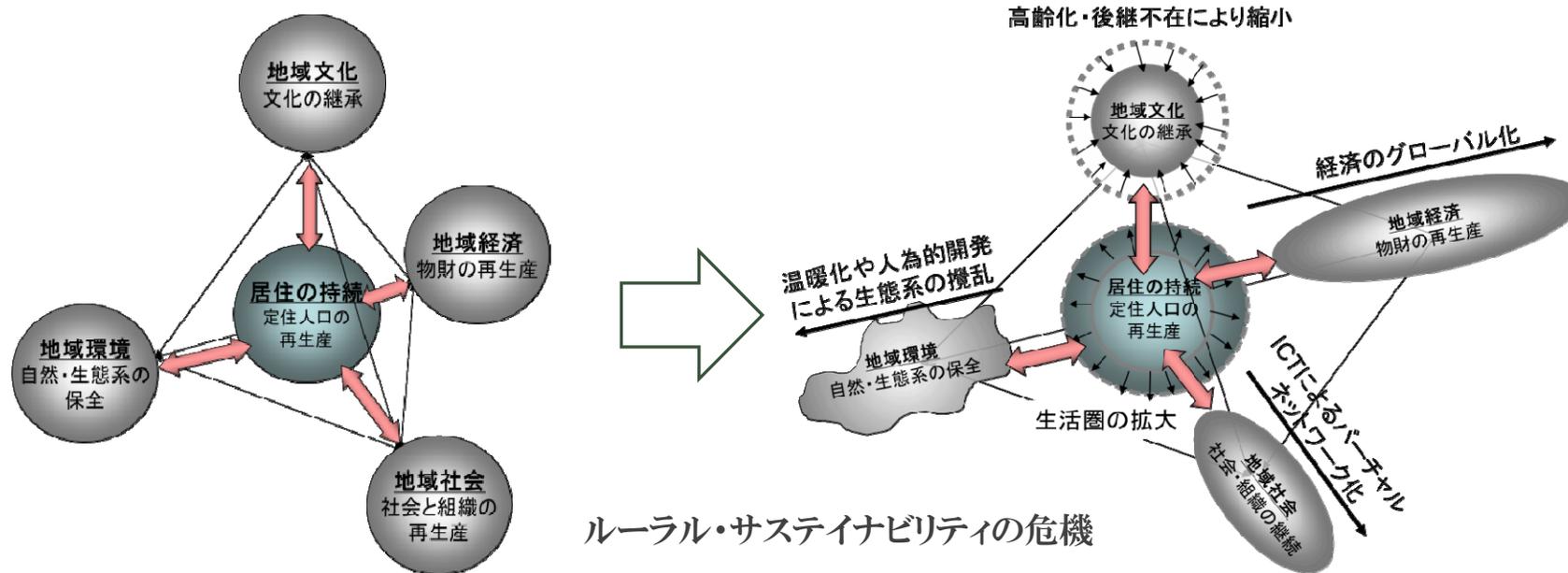
持続的農村開発論
= 農村計画学∩ルーラル・サステナビリティ

農村計画学 = 農村発展論 ∪ 計画論

Research Mission

農山村地域の持続性(ルーラル・サステナビリティ)は、定住人口の再生産、物財の再生産、社会・組織の継続、自然・生態系の保全、文化の継承の5つの要素が地理的に限定されたフレームの中で維持されてきました。しかし近年、過疎化・高齢化、グローバル化、気候変動、人為的な開発などの影響を受けて、その持続性は大きく損なわれつつあります。

持続的農村開発論分野では、農村計画学的な視点から、地域課題の解決とその先にある地域固有の持続性を再建するために、農山村地域の発展メカニズムの解明および制度・政策の設計と評価に取り組んでいます。



Research Topics

2015年に公表された査読論文のタイトル

キーワード:

ルーラル・サステナビリティ, 地域活性化, 地域資源管理, 土地利用計画, コミュニティ開発, 鳥獣害対策, 放棄地対策, 農村移住, 市町村条例, 農村整備事業, 農村協働力, 地域情報化, 生態系サービス, 資源循環, 社会ネットワーク, 制度比較, 都市農村交流, 集落支援員, 農村景観



- ICTを活用した集落コミュニティづくりの可能性
- タブレットPCによる映像制作を取り入れたワークショップの試み
- 中国農村地域におけるインターネット利用と住民の政府への信頼との関係に関する探索的研究
- 土壌汚染サイトの指定解除後の農地利用の実態とその地理的要因の解明
- Forest stewardship council certificate for a group of planters in Vietnam: SWOT analysis and implications
- 韓国の落後地域政策の変化と新活力事業の特徴
- 能登半島の社会生態生産ランドスケープ・ホットスポット評価
- 農山村地域におけるロコミによる情報共有の実態と促進に向けた課題
- 農山村地域におけるSNS交流を促進するキーパーソンの特性
- 学習指導の向上に向けた農業学習に対する学習者の価値意識の把握
- フィリピン・パンパンガ・デルタ灌漑事業の課題とその改善方向
- 行動科学的観点からみたインターネット利用を促すための外的支援
- 中国北京近郊農村地域におけるインターネットの利用実態とその満足度に関する研究
- 「連携域」におけるオンラインコミュニティの活用が集落間の交流や共同での村づくりを促す可能性
- Unfolding livelihood aspects of the Water-Energy-Food Nexus in the Dampalit Watershed, Philippines
- A pragmatic analysis of water supply and demand, and adaptive capacity in rural areas: development of Rural Water Insecurity Index
- Local climate assessment: a meso-scale analysis of long period rainfall in a rural dry sub-humid district from India
- Coping with water security in rural India
- Serving The Underserved: The Water-Energy-Food Nexus in Socio-Ecological Production Landscape
- 獣害対策の継続が集落のソーシャル・キャピタルに及ぼす効果
- フィリピン農地改革インフラ支援事業による効果的貧困改善事業の考察

Members & After Graduation

研究室メンバー:

* 教員・研究員 4名

| | |
|-----|-------|
| 教授 | 星野 敏 |
| 助教 | 鬼塚健一郎 |
| 研究員 | 落合基継 |
| | 金 斗煥 |

協力教員 1名

特定准教授 清水夏樹 (森里海連環学教育ユニット)

* 教務補佐員 2名

* 事務補佐員 1名

* 学生 24名 (含農学研究科・グローバル生存学)

| | |
|--------|-----------------|
| 博士後期課程 | 5名 |
| 修士課程 | 13名 |
| 学部4回生 | 6名 (農学部地域環境工学科) |

卒業生の最近の進路 (含農学研究科)

* 2015年度

大学院進学, 神戸大学, 農水省, 京都府,
能登里海教育研究所, キーエンスソフトウェア,
NTTビジネスソリューションズ

* 2014年度

大学院進学, 環境省, 福岡県, 愛媛県, 関西
テレビ

* 2013年度

大学院進学, 京都大学, 文部科学省, 京都市,
JT, キッコーマン, 日本生命保険相互会社

* 2012年度

大学院進学, 京都大学, 名古屋大学, 京都府,
大東市, 三菱電機, 住友林業

* 2011年度

大学院進学, 京都大学, 東京理科大学, 愛
知県